



# ときめきの瞬間



## じっくり探すことができます

9月21日(土)~23日(月・祝)

織部ヒルズオータムフェアが織部ヒルズと道の駅志野・織部で開催されました。商社直営ショップが陶器、ガラス、雑貨、天然蜂蜜などを販売するほか巨大迷路やスタンプラリー、飲食コーナーなどの催しが盛りだくさん。5月に開催される「土岐美濃焼まつり」と比べ落ち着いた雰囲気のため、訪れた人は器などを手に取りながら、ゆっくりと買い物を楽しんでいました。



## 「美濃焼こみち」に参加してね

9月23日(月・祝)

土岐市・多治見市・瑞浪市と県で行う体験型観光イベント「美濃焼こみち」のPRイベントが土岐プレミアム・アウトレットで開催され、とっくりとっくん、ミナモ(県)、うながっば(多治見市)、すえっこ(瑞浪市陶町)が応援に駆けつけました。応援隊の彼らは、来場者にチラシやグッズなどを配布するほか、子どもたちと写真撮影などを通して、同イベントへの参加を呼び掛けていました。



## 環境にも住民にもうれしい肥料

10月1日(火)

公園での伐採や草刈りなどで発生した枝葉・刈り草をバイオ肥料化して市民の皆さんに無料配布する事業が環境センターで試験的に行われ、初日は約100台の車が詰めかけました。この事業は、ごみの減量化や資源化への取り組みの一環で、おとしし10月から昨年3月までに集めた枝葉など約436立方メートルを肥料化しました。焼却処理をするよりも費用が抑えられるメリットもあります。



## 夢を持ち続けて

10月8日(火)

一流スポーツ選手が講師となって子どもたちに夢を持つことの素晴らしさを伝える「夢の教室」が土岐津小学校で行われました。児童らは、みんなで協力して行うゲームや「夢先生」の体験談などを通して、夢を追い続けるために苦手なことにも取り組む必要があることや、継続すること、個性を伸ばす努力することなどが大切であることを学びました。



## 第18回駄知どんぶりまつり

10月5日(土)・6日(日)

駄知どんぶりまつりがセラテクノ土岐をメイン会場に駄知町で開催され、窯元の逸品を買い求める人など多くのお客さんでにぎわいました。セラテクノ土岐では、気に入ったどんぶりに投票する「どんぶりコンテスト」や2人1組でどんぶりを積み上げ、その個数を競う「どんぶり積み上げ大会」などたくさんの催しがあり、大人から子どもまで幅広い世代の方が、まつりを楽しんでいました。



Voice

どんぶり積み上げ大会に初めて参加しました。どんぶりを積み上げるなんて初めての体験で難しかったけど、おじいちゃんと一緒に49個も積み上げることができて、とても楽しかったです。



- ①神楽舞 ②花馬奉納
- ③火縄銃の実演(妻木小学校)
- ④陣笠・陣羽織姿での流鏝馬
- ⑤竹で編んだ笠に五色の紙を切り貼りした花笠に化粧をし、江戸時代の姿を再現した古式衣装での流鏝馬

## 勇ましく 清らかに

10月13日(日)

妻木町の八幡神社で、市無形文化財に指定されている流鏝馬神事が奉納されました。この神事は、江戸時代に妻木城主・妻木家頼が旅所を造営し馬一頭を献上したことが始まりだといわれています。乗子には同町の小学4~5年生男子が、巫女には4~6年生女子が挑み、およそ1万人の観客が見守る中で見事にその大役を務め上げた彼らには、惜しみない拍手が送られました。